



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

## 2010年10月号

### 「主題」

- 国際会長 : 「心新たに立ち上がろう」  
 アジア地域会長 : 「心新たに立ち上がろう」  
 西日本区理事 : 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」  
 中部部長 : 「ワイズはフェイス to フェイス！」(コミュニケーションは顔を見て声をかけて)  
 プラザクラブ会長 : 「とにかく楽しくやってみよう」

【BF=BF は、世界のワイズメンが同じ条件で参加できる事業です。使用済み切手の整理作業をしながら国際舞台の夢を語りましょう。】

### 10月例会および今後の予定案内

#### 【10月第1例会】

日時：10月7日(木)・18:45-

場所：名古屋YMCA会議室

内容：1. 大平氏入会式

2. 卓話「ワイズは国際奉仕クラブ」

講演者 奈良昭彦氏(名古屋グランパス所属)

プロフィールは次ページに掲載しました。

#### 【10月第2例会】

日時：10月21日(木)・18:45-

場所：名古屋YMCA会議室

内容：11月例会打合わせ

出席義務者：役員(島崎・櫛田・後藤)

11月担当者(櫛田・後藤)

12月担当者(島崎・松永)

#### 【今後の予定】

1. 中部部会

日時：10月2日(土)・11:00-

場所：金沢ニューグランドホテル

2. 11月第1例会

日時：11月4日(木)・18:45-

場所：名古屋YMCA会議室

3. チャリティーラン

日時：11月6日(土)・10:00(雨天の場合翌日に順延)

場所：名城公園

4. パレットキッズと釣り会

日時：11月13日(土)・現地集合10:00

場所：稲永公園(稲永ビジターセンター前・弁当各自持参)

5. 11月第2例会

日時：11月18日(木)・18:45-

場所：名古屋YMCA会議室

### 9月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者				
		1	2	①	②	③
	大島 孝三郎	○	○		○	
	小澤 幸男	○				
書記	櫛田 守隆	○	○			
会計	後藤 猛	○	○			
会長	島崎 正剛	○	○		○	
直前会長	鈴木 誉三	○				
	高田 廣	○	○	○	○	○
	松永 裕子					
連絡主事	万福寺 昭美		○			
ゲスト	大平 純市	○				
課外活動	①チャリティーラン準備委員会					
	②EMC 懇談会					
	③EMC シンポジウム準備会議					
出席率・%					88.9	
1. ニコボックス						
2. オークション						
ファンド・当月合計/累計						
10月号ブリテンの寄稿者は大島さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール moritaka_kushida@ybb.ne.jp						
11月号・後藤/12月号・万福寺/1月号・松永 2月号・小澤/3月号・鈴木/4月号・島崎 *9月号の掲載順序は誤りでしたので訂正いたします。						

BF (Brotherhood Fund)=国際役員やBF 代表が公式行事に参加する旅費などの資金源として、全ワイズメンの参加によって集められる資金。使用済み郵便切手を集め、切手市場で換金している。(2010-2011 年度ハンドブックより)

## 奈良昭彦氏プロフィール

1944 年 東京生まれ。大学で金属加工、大学院で建築を学び、建築設計事務所を自営。住宅、教会建築、YMCA 施設などを手がける。

1980 年 東京 YMCA 維持会員となり、東京山手ワイズメンズクラブ入会。YMCA では山手センター運営委員長、東京 YMCA 国際奉仕センター運営委員長、ワイズメンズクラブでは、クラブ会長、(旧)南東部長、(旧)日本区 Y サ・ASF 事業主任、東副区理事、東日本区準備委員長などを務める 1997-2000 年 国際議員、1999-2000 年 アジアエリア会長、2001-2003 年にヒマラヤのブータン国、2005-2007 年に中米のセントルシア国に JICA シニアボランティアとして赴任。

現在は大阪女学院非常勤講師、淀川キリスト教病院評議員などを兼務する。

## 9 月第 1 例会報告

日時：9 月 2 日(木)・18:45-

場所：ケンポー

### 1. 中部部会参加者・島崎

5 人に確定、車 2 台に分乗。2 日の宿泊は島崎さんに手配をお願いします。

### 2. ジャガイモ・カボチャ注文・島崎

各クラブの売価を以下に統一した。

ジャガイモ 1,600 円/箱 注文数 10 箱

カボチャ 2,200 円/箱 10 箱

### 3. EMC シンポジウム参加者・島崎

9 月 10 日(金)・午後 7 時、名古屋 YMCA 会議室にて開催の EMC 懇談会に 3 人が参加。



(いろいろ反省会しながら、大いに盛り上がっております。)

### 4. チャリラン実行委員会報告・高田

8 月 26 日(木)、名古屋 YMCA にて行われた実行委員会で以下の事項が協議された。

- (1) 開催場所は 11 月 6、7 日の両日確保したため、6 日(土)が雨天の場合、翌日 7 日(日)に順延する。
- (2) 怪我や急病人が出た場合を想定して医療チー

ムを検討する。

(3) クラブ毎にランナーまたはチームを編成していただきたい。

### 5. 南山クラブ 40 周年記念例会報告・大島

10 月号のブリテンに掲載、600 字前後で原稿をまとめてください。

### 6. 反省会



(第 2 例会、真剣に討議しています・東海クラブ長谷川氏撮影)

## 9 月第 2 例会報告

日時：9 月 16 日(木)・18:45-20:00

場所：名古屋 YMCA 会議室

### 1. 10 月第 1 例会・島崎

(1) 大平さんの入会式

(2) 卓話・グランパスクラブ所属の奈良昭彦氏に大島さんがお願いします。ご了解の場合は演題を榎田までご連絡ください。

(3) 万福寺さん 12 月 4 日まで研修会のため不在。

10 月から 12 月までの例会および各種行事の欠席者は開催日前日の 5 時までには YMCA の坂本さんに連絡する。

### 2. 中部部会参加者・島崎

(1) 車分乗 大島・鈴木・榎田/島崎・後藤

(2) 集合場所時間 後日島崎さんより連絡

### 3. パレットキッズとのハゼ釣り日程・榎田

11 月 13 日開催予定のハゼ釣りは、森宗さんと正式日時調整中、10 月第 1 例会までに決定する。

### 4. ジャガイモ・カボチャ・万福寺

(1) 申込みされた方は、10 月 16 日(土)午後 1 時-6 時の間に南山 YMCA でお受け取りください。代金は後日後藤会計係が徴収します。

(2) 名古屋 YMCA 全受注数は現在約 450 箱、運送費試算数の 500 箱には足りず、運送費 1 箱 110 円の上積みとなる。450 箱発注して 110 円/箱払うか、500 箱発注して 50 箱を再販売するかは YMCA の判断に任せる。

### 5. チャリランおよび EMC 小委員会・高田

- (1) チャリラン実行委員会開催は、9月29日(水)午後7時より名古屋YMCA会議室。
- (2) EMCシンポジウム小委員会  
9月22日(水)午後7時より名古屋YMCA会議室にて開催。

## 南山クラブ設立40周年記念例会参加報告

南山クラブの40周年記念例会が去る8月5日、ワイズメンズクラブ国際協会・国際大会初日の開会の前の、11:00~12:30の時間帯に開かれ出席してきました。会場はパシフィコ横浜の中のレストランテアッティモという瀟洒なレストランでした。IBCである韓国新仁川クラブと台湾台北中正クラブの両クラブからの出席者を迎えての緊張感のある例会でした。両クラブとは、各クラブの周年記念例会を中心としてこの2~3年毎年交流が続いているとのことでした。

出席者総数43名、内訳は、新仁川2名、台北中正10名、金沢3名、名古屋8名、名古屋東海6名、四日市2名、名古屋プラザ1名、名古屋グランパス1名、金沢犀川2名、名古屋南山8名でした。

プログラムは、小塚メンの司会、近藤会長の開会宣言、一同のワイズソング、名古屋クラブ西村メンの開会祈禱、近藤会長の歓迎挨拶、来賓挨拶として、渋谷中部部長、野村名古屋YMCA理事長、新仁川パク会長、フシウ台北中正直前会長の4名から祝辞が述べられました。続いて加藤名古屋YMCA総主事の食前感謝、会食、出席者紹介、記念品贈呈式、荒川文門ワイズの閉会挨拶、最後に記念写真の撮影で、なごやかな会も次回の再会を約してお開きとなりました。

この例会に出席したことで、南山クラブの誕生がYMCAの南山ブランチの開設の時であるという歴史と、活動の特徴が、フェローシップ イン 南山、バザー、子育て講演会など、南山の地域と幼稚園とのコラボレーションにあることが理解出来ました。この伝統に敬意を表しますと共に更なるご発展をお祈りします。

(大島 孝三郎)

## EMCシンポジウム小委員会報告

9月22日水曜日の午後7時より名古屋YMCA会議室にて、下村EMC主査ほか各クラブのEMC担当者を含めた総勢14人のメンバーが集まり、EMCシンポジウム(仮称)小委員会が開かれた。

会議は「ワイズを知ろう・語ろう・楽しもう」を3部構成で討議され、10月23日に開催するシンポジウムについての課題などが挙げられた。

1. 動員目標人数の設定  
各クラブは、新入会員および他クラブとの接触のない方を主体に10月15日までシンポジウム参加者の人数を下村EMC主査へ連絡する。
2. 予算と参加費  
(1) 参加費@500×参加人数  
(2) 各クラブ3000円の協賛金をお願いする。
3. スピーカーの要請  
主催者が検討する。
4. 次回小委員会・10月18日(月)7時・YMCA会議室
5. 中部EMCシンポジウム(仮称)開催  
日時:10月23日(土)・13:00-  
場所:名古屋YMCA 3F会議室  
(高田 廣)

## 2010年の夏は暑かった。

今年の夏は非情でした。例年、梅雨明け10日の晴天に、来る夏の姿を垣間見るのですが、梅雨明けと同時に直球勝負とばかりに35度以上の猛暑の連続。長雨で野菜が高騰したと思えば、一転高温で野菜の高騰。

私は福岡育ちで、松本清張の小説『点と線』に描かれている海岸の町で育ちました。名古屋と違い朝凧・夕凧の変化のなかで育ちましたが、名古屋の夏は一日無風で湿気が体にまとわりつく重い気候。熱中症のために救急車で病院に搬送された数は、今年が全国一とのこと。

そこで気温をキーワードに日本の過去最高及び最低(気象庁統計)を調べたところ、1961年の公式統計以降では意外と愛知県は上位ではなく、1位は熊谷の40.9度(2007年8月16日)、2位甲府40.4度(2004年7月11日)、3位前橋40度(2001年7月24日)、名古屋は6位で39.8度(1994年8月5日)。確か以前に多治見で41℃を記録したと思いますが、ちなみに最低は当然旭川で1977年1月29日に-29度。以前-30度を体験したが寒いというより痛かった。

地球の温暖化が言われ続けているが、日本の最高最低気温の記録は1960年代から70年代が多い。ただ地球規模の歴史?からすると人類の歴史は1月を地球の創世記とすると人類の歴史の始まりは12月31日午後10時位と記憶しているのですが、その気の遠くなる時間の中では現在のこの微々たる歴史の一コマの温暖化などまったく取るに足りない気がします。

過去に何度も氷河期と温暖化を繰り返した地球で、世界の学者で意見が分かるといわれるのは、温暖化の基準をどの時代に置くかで分かれるのと各先進国の思惑が見え隠れするようです。

そんな壮大な話とはともかく、いつまでこの夏の猛暑は続くのでしょうか。暑さ寒さも彼岸までの言い伝えを頼りに暫く名古屋の暑さを命がけで楽しめますか。  
(島崎 正剛)

## 人生には笑いが必要

昨日テレビを見ていると人生、生きて行くには笑いが無い人生は生き甲斐を感じない。そんな放送を見て聞いて、一生を生き抜くには楽しい人生を送った方が得であると、小生は考える。

思えば当年取って 74 才、過ぎて見れば早いものだ。昔の人が「光陰矢の如し」と言った諺を実感します。私事ながら生まれた時は戦前、その後戦中、戦後と波乱の時代に幼年期を送る。敗戦後は今思えば想像を絶する生活をした。今の若者には生い立ちを話しても、とても理解してもらえないものではない。お陰様でそんな生活に耐えて、忍耐力がついたと自負するものです。

子供の頃、特に育ち盛りには天真爛漫に喜怒哀楽を表に出して育って行く、勿論笑いもいっぱいある。両親の愛情で幼少時代を過ごす、我々の時代は戦中、親と離ればなれで戦火を逃れ、疎開生活は笑いなどある筈がない寂しさと空腹との連続であった。然し人生悪い事ばかりではない、戦後平和な時代が来て、敗戦時のくやしい思いを負けじ魂で復興に注ぎ、目覚しい発展をする。その頃から少しずつ笑いも出て来て、将来を夢見て努力したものである。

だが発展途上とは言え就職難だった。小生も今ではタブーだがコネで某建築会社に就職して家庭を持ち、子育てをしてサラリーマンとして人生を送る。世の中も経済状況も安定期に入り生活にも余裕が出て来た。娯楽も世の変わりにつれてテレビを見るとスポーツや観劇、漫才等目白押しである。勿論笑いも至る処にあり増えてきたと思う。

然しテレビ放送の笑いの統計に依ると 24 時間中笑っている時間は平均して僅か 2 時間だと言うことだ。これからは大いに笑い楽しい老後を暮らしたいと思う。笑う門には福が来たり、笑いが多い程免疫力も高まると言う。人生笑って終わりたいものだ。  
(高田 廣)

## 聖書の言葉

【その血の責任は、われわれとわれわれ子孫の上にかかってもよい。】

【ユダは、イエスが弟子たちと過越祭の食事をしていところへ、祭司長や長老、剣などを持った群衆を連れてやって来た。弟子たちが逃げた後、イエス

は捕らえられ長老や律法学者たちが集まっている大祭司の屋敷に連行される。彼らユダヤの指導者たちは、正式な裁判に先立ち「神を冒瀆した」罪で死刑の判決を下し、翌日ローマ総督のピラトには「皇帝に対する反乱」を企てたと引き渡す。大祭司が言うイエスの罪状に疑念を持つピラトは、毎年過越祭には民衆が希望する囚人を 1 人釈放していたことを利用して、当然民衆が選ぶであろうと思われる強盗殺人犯のバラバを立てた。(マタイ 26. 47-27. 20・粗筋)

総督は彼らに向かって言った。「二人の内、どちらを許して欲しいのか」。彼らは「バラバの方を」と言った。ピラトは言った。「それではキリストといわれるイエスは、どうしたらよいか」。彼らは一斉に「十字架につけよ」と言った。しかし、ピラトは言った、「あのひとは、どんな悪事をしたのか」。すると彼らは一層激しく叫んで、「十字架につけよ」と言った。ピラトは手の下しようがなく、却って暴動になりそうなを見て、水を取り、群衆の前で手を洗って言った、「この人の血について、わたしには責任がない。おまえたちが自分で始末するがよい」。すると、民衆全体が答えて言った、「その血の責任は、われわれとわれわれ子孫の上にかかってもよい。」そこでピラトはバラバを釈放し、イエスを鞭打ってから、十字架に付けるために引き渡した。  
(マタイによる福音書 27. 21-26)】

【9月4日付中日新聞に『ユダヤ人には特定の遺伝子 差別発言で独連銀理事解任へ』の記事が載った。仏政府のロマン(注:1)国外送還騒動に続いて、「また人種差別か」と思う。著者井沢元彦氏の「ユダヤ・キリスト・イスラム集中講座」の対談で、パット・ロバートソン氏(注:2)は『「その血の責任は、我々と子孫にある」の言葉は、イエス・キリストによる教えではありません。単に、イエス処刑の責任を自分たちでとると、ユダヤ人が述べた発言の記録にすぎません。またそう述べたユダヤ人は、当時のユダヤ教のリーダーたち、祭司長や律法学者、パリサイ派の人々などでした。つまり、イエスの死の責任をユダヤ人に帰してユダヤ人を迫害しなさいという教えではない。』と釈明しているが、どうもすっきりしない。】

(注:1) イド 北西部が起源とされる少数民族。かつて「ジプシー」と呼ばれたが、差別表現として現在は使われていない。多くは定住地を持たず、ルーマニアやブルガリアなど中東欧を中心に欧州全体で 600 万人超が暮らしているとされる。EU 市民だが城内での差別が絶えない。(9月6日付日経新聞より)

(注:2) アメリカのテレビ伝道師。共和党の最大利益団体、クリスチャン・コアリション(キリスト教徒連合の創始者であり、聖書の教えを政治に反映させようとするキリスト教右派の代表的指導者として政界に多大な影響力を持つ。(ユダヤ・キリスト・イスラム集中講座・徳間書店より)